

【図画工作の鑑賞 自在置物を見に行こう】9/14

○ 瀬戸田小学校のお隣、平山郁夫美術館では、「自在置物 満田晴穂 細密進化の旅」展 2022/7/23~9/16 が開かれていました。

5年生では、図画工作科の時間に、作家の満田晴穂さんの制作風景などの動画で、自在置物に関わる思いにふれた後で、作品鑑賞に行ってきました。



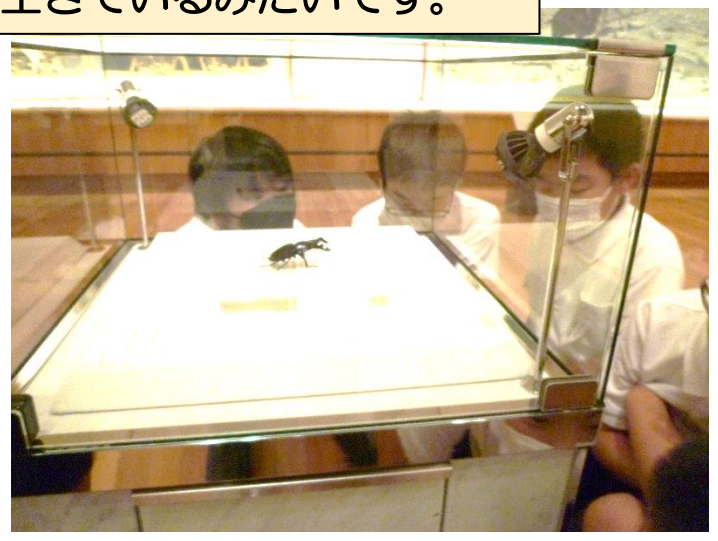
江戸時代中ごろに太平な世の中になると武器類の需要が減少したため、甲冑師が生み出した「自在置物」。鳥や蛇等のさまざまな生き物を金属で表現し、まるで生きているかのように自在に動かすことができることからそう呼ばれました。

【平山郁夫美術館ホームページより抜粋】

平山助成館長のお話。「好きなものをとことん細かく観察すること。」



今にも動き出しそう。生きているみたいです。





学芸員の幸野さんに、目の前で動かしながら説明していただきました。



本当に動くんだ！ どんな仕組みなのだろう？



トンボが木の枝にとまって、今にも飛び立ちそう。
深みのある目の緑をどうやって表現したのでしょね。



日本の伝統工芸の素晴らしさや職人さんの技術の高さに感動しました。



自分が気に入った作品を、じっくり鑑賞しました。

本当に金属なの？



身近な生き物で話題も広がりました。(もちろん小声中)

いつもながら貴重な時間でした。
絵画だけでなく工芸品までも、最高の技術や本物にふ
れられる幸せな環境に感謝です。